

# 堀岡 敏喜 議員 公明党



## 問 コロナ禍、第二波第三波に備えよ

## 答 市民の生命、健康を守る

**問** 新型コロナウイルス感染症に対してどのように認識し対応してきたのか。

**答** (健康福祉部長) 国の基本方針を受け、市民の生命と健康を守り感染症拡大を防止するため、対策本部を設置した。

**問** 市民目線の情報発信をすべきでは。

**答** 広報、市ホームページ、メール等を活用し、わかりやすい情報伝達に努める。

**問** 今回を契機に、オンライン学習の環境整備を大きく進めるべきでは。

**答** (教育部長) 児童生徒一人1台のタブレット配備を本年度中に検討している。

**問** 市財政の今後の見通しは。

**答** (建設部長) 税収の落ち込みや交付金等の目途がつかない。

**問** 総合計画、都市計画マスタープランなどへの影響は。

**答** 新規事業の事業着手時期の見直し、継続事業の事業期間の検討、各種大型事業計画の見直しも必要。

**問** 自治体としてIT化をすすめるべきでは。

**答** (総務部長) 必要不可欠なものであるが、多額の設備投資、保守管理、専門職員の配置や情報セキュリティ対策の課題もある。

**問** これまでを検証し最善を尽くせ

**答** 全庁一丸となって取り組む

**問** コロナ禍の「これまで」を検証し、「これから」をどう想定していくのか。

**答** (市長) 重要な危機管理として、全庁一丸となつて、取り組むとともに、国・県、医療関係者等と相互に連携を図っていく。

**問** コロナ禍での災害対策は。

**答** (総務部長) 自宅の二階や親せきや友人・知人の家などへの避難を検討してもらい、早期避難行

動の支援、避難所内での感染拡大防止策、新たな避難所の調査を行っている。

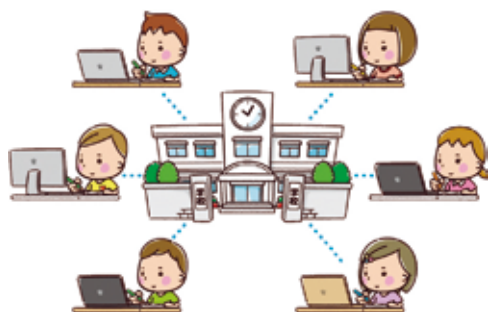
**問** 感染症への行動計画、BCP(事業継続計画)も含め見直しが必要では。

**答** 複合災害に備えて、対策を改定する。避難所担当職員にマニュアルの研修、保健師や津島保健所との連絡体制を整える。

**問** 自治会活性化のため、情報共有の場を。

**答** (市民生活部長) 市ホームページ等を活用して情報提供したい。

**問** 現況下で行事や集会の開催の是非を、自治会役員や団体に委ねるのではなく、市民の安心安全を守る意味からも市が方針を示すべきでは。



**答** 中止という方向だけでなく、創意工夫し、内容を検討するなど、地域と行政が情報を共有し、開催の可否について行政に相談を。